

【様式 02】 高大連携公開講座B シラバス

* 講座 No.

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部				
2. 講座名	家畜とのふれあいを通じて学ぶアニマルサイエンス (旧科目名：動物とのふれあいを通じて学ぶアニマルサイエンス)				
	<table border="1"> <tr> <td>学問分野</td> <td>番 号</td> <td>33</td> <td>名 称</td> <td>農学 (畜産)</td> </tr> </table>	学問分野	番 号	33	名 称
学問分野	番 号	33	名 称	農学 (畜産)	
3. 担当教員	都築 政起 生物生産学部 動物生産科学コース 教授 谷田 創 生物生産学部 動物生産科学コース 教授 黒川 勇三 生物生産学部 動物生産科学コース 准教授 小櫃 剛人 生物生産学部 動物生産科学コース 准教授				
4. 開講期間・回数 曜日・時間帯	平成 24 年 8 月 3 日 (金)・3 回 金曜日 9 時 30 分 ~17 時 00 分				
5. 募集人数	30 人				
6. 講座内容・ 講座計画	<p>私たちは、乳・肉・卵などの食料や毛・皮などの衣料などを家畜から得ることで、心身ともに豊かな生活を送ることができます。しかし、家畜生産の現場が日常から離れていることが多く、家畜がどのように飼育されているか意外と知られていません。本講座では、広島大学の農場で実際に家畜とふれあいながら、家畜生産の科学について学びます。</p> <p>第 1 回 9:30-12:00 家畜の過去・現在・未来 担当 都築 政起 教授 多様な品種がある現在のニワトリ成立の経緯から、おいしくて病気に強いニワトリをつくる研究の現状など、ニワトリを例に、家畜のたどってきた道とこれからを考えてみましょう。ニワトリの生殖に関する実習も行います。</p> <p>第 2 回 13:00-15:00 ヒトと家畜との関わりについて考えてみよう 担当 谷田 創 教授 家畜の健康管理と福祉、循環型家畜生産、家畜生産物の利用、食の安全・安心について農場体験を通して学ぶことで、ヒトと家畜との関わりについて考えてみましょう。</p> <p>第 3 回 15:15-17:00 家畜の世話をしてみよう 担当 黒川 勇三 准教授, 小櫃 剛人 准教授 牛乳がウシの体の中でどうやってつくられるか、どのように牛乳を生産しているのか、ウシはどんなものを食べているのか、搾乳体験や給餌体験を通じて家畜生産の実際を学んでみましょう。</p>				
7. 受講料	無料				
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし				
9. その他特記事項	<p>(受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献、集合場所、持参物等、特記すべきこと)</p> <p>実習や講義に積極的に参加できる方の受講を希望します。 応募人数が多い場合は受講できないことがあります。 昼食・飲み物を準備してください。 簡単な作業や実験を行いますので、軽作業のできる衣服、帽子、靴（できれば長靴）を準備してください。 午前中は生物生産学部で講義・実習を行い、午後から大学の農場にバスで移動して体験的な講義や実習を行います。</p>				
10. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ →広島大学→交通アクセス・地図→東広島キャンパス 広島大学生物生産学部 http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei/index.html				